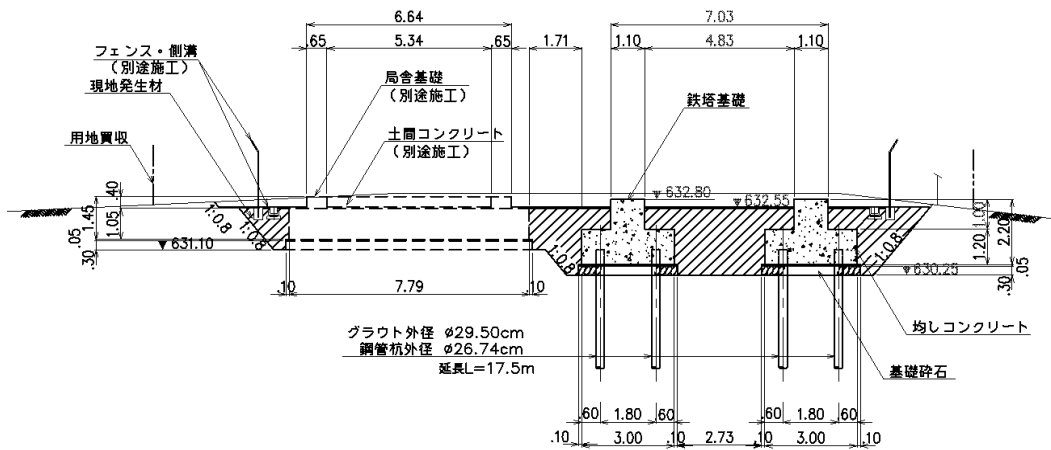


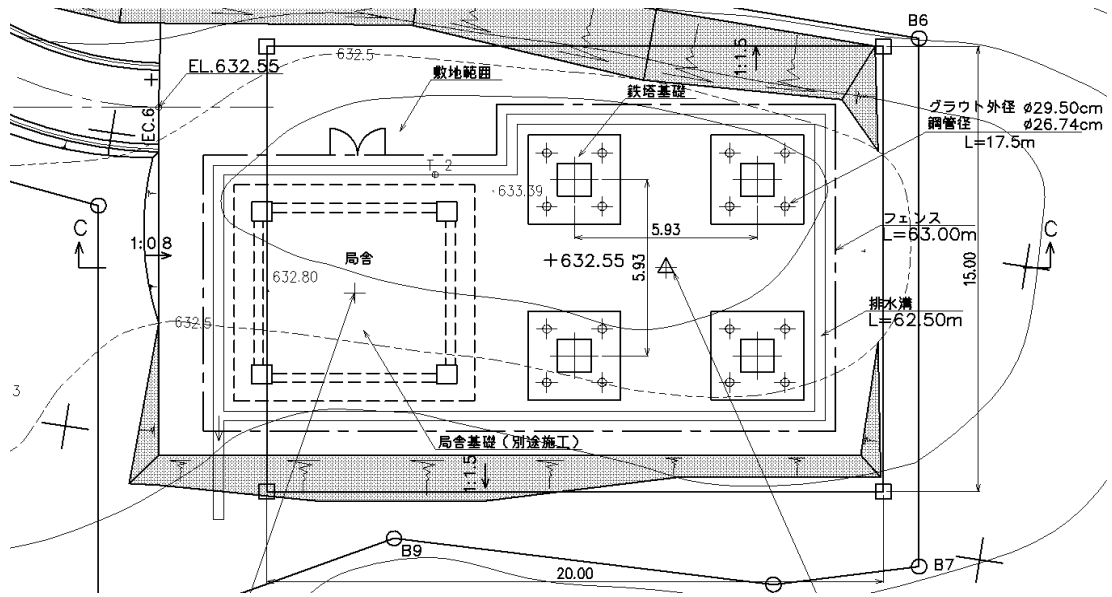
用途	<b>新設通信鉄塔基礎</b>	<b>工事の特長</b> ・ふもとから施工箇所である山頂までの約1km区間が、整備されていない幅3mの急勾配な山道であり、施工箇所も狭隘な制約条件から、コンパクトな機械設備で施工可能なSTMPが採用された、新設の通信鉄塔基礎工事である。 ・資機材の搬入は、急勾配で滑る山道を登らなければならなかったため、主にチェーンを巻いた4t車を使用し、ポーリングマシンは自走にて、高圧コンプレッサ(タイヤ付き)は、バックホウ(0.2m <sup>3</sup> )で牽引して搬入した。 ・現地土質は、地殻変動により隆起した花崗岩およびそれが風化したマサ土が複雑に入り乱れた状態であったが、リングロストビットを使用したダウンザホールハンマ二重管削孔方式の採用により、良好に施工することができた。 ・杭の偏心量については、丁張りに張った水系からの寸法を随時確認することで、規格値(267.4mm÷4=66mm以下)を満足することができた。 ・設計杭長より0.5m長くなるように延長した上杭を使用し、杭頭処理時に切断することで、杭天端高の精度を容易に確保可能とした。
工事名	都祁中継局新設工事に伴う鉄塔基礎他設置工事	
工事場所	奈良県奈良市都祁小山戸町地内	
発注者	電源開発(株)	
施工時期	平成20年7月	
杭形状	直杭 17.5m×16本	
杭延長	280.0m	
鋼管仕様	STKT590 φ267.4×12.0t (設計:STK540 φ267.4×12.0t)	
標準鋼管長	3.0m	
削孔方式	ダウンザホールハンマ二重管乾式削孔方式(リングロストビット)	
削孔機	クローラタイプ(SM400)ノーマルブーム	
空頭制限	なし	
上層地盤	マサ土	
定着地盤	花崗岩	

概要図

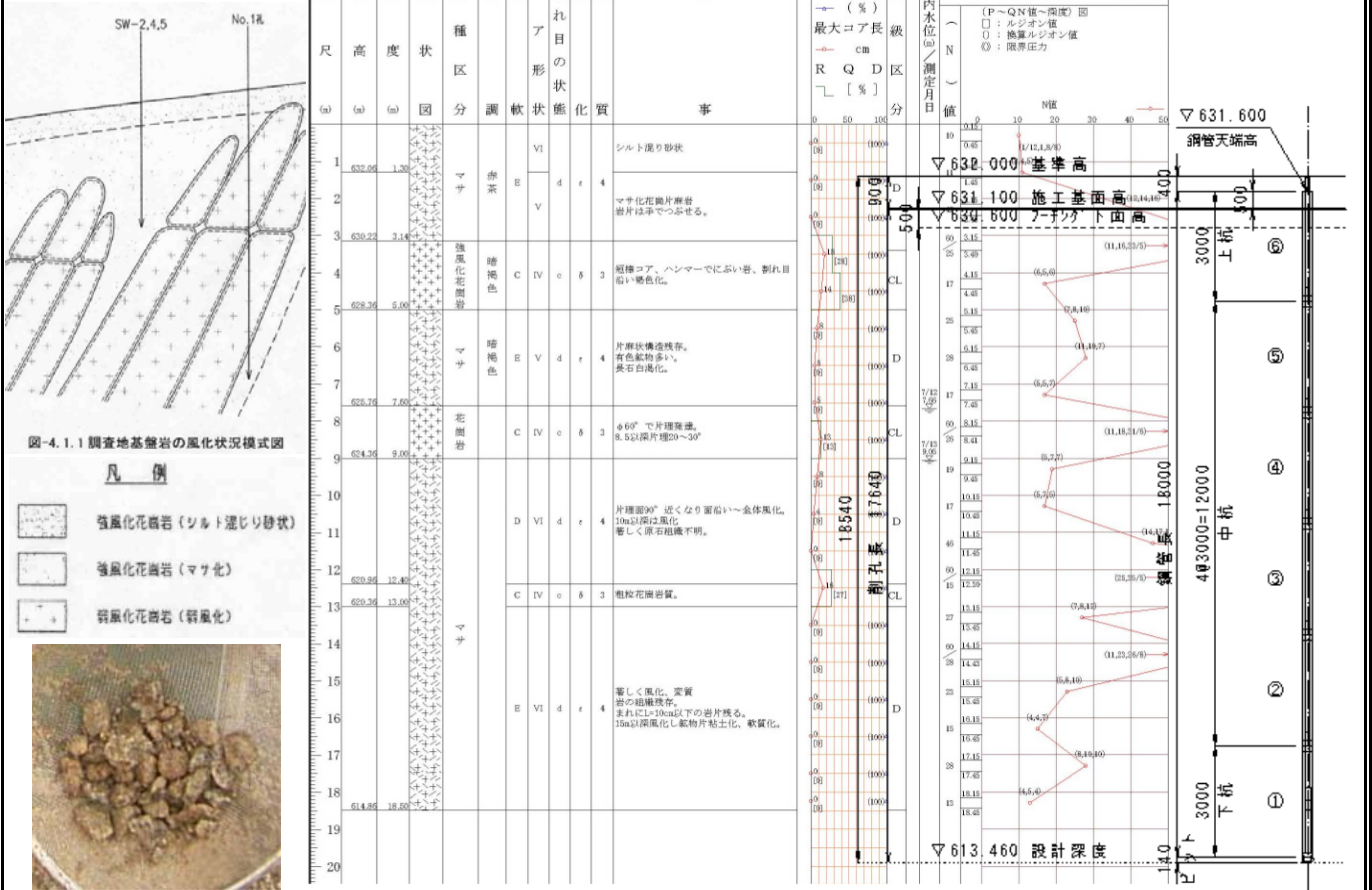
側面図



平面図



土質柱状図



施工状況写真



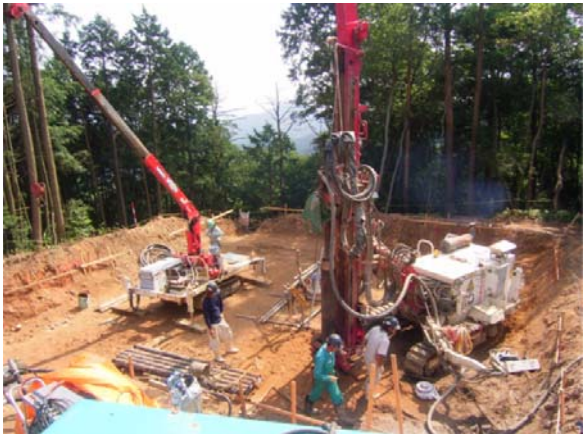
着工前全景



完成全景



高圧コンプレッサー搬入状況



施工状況

施工状況写真



プラント全景



ダウンザホールハンマ・パイロットビット



リングロストビット



リングロストビットはめ込み状況



鋼管吊り具(カプラ加工品)



ネジ部清掃状況(エア)



上杭鋼管天端切断状況



グラウト充填および天端仕上げ状況